

あらかわ経営塾と中小機構の支援策を活用し 全社をあげて第二創業

業種：ガソリンスタンド経営
所在地：荒川区東日暮里 6-21-8
資本金：4770万円
設立：昭和25年7月
従業員：94名
経営塾受講年度：平成25年度



本社



中古車販売スペースの様子

企業概要

東京都、埼玉県、千葉県に11店舗のサービスステーション(SS)を持ち、地域に密着した積極的経営を展開している。

ガソリンの給油だけではなく、メンテナンス等のカーケアサービスも充実しており、顧客が自動車を購入してから廃車するまでの「自動車の一生」をサポートしている。

右写真を経営理念に掲げ、顧客の一生のカーライフを支えている。

あらかわ経営塾を受講する前

ガソリンスタンド業界全体として、原油価格や為替レートに左右されやすく、またハイブリッド車、水素自動車等の登場、若者の車離れ等から、ガソリンの需要減少により、多くのガソリンスタンドが廃業に追い込まれつつあり、生き残りをかけた競争は激化の一途を辿っている。

また、経営計画と実績との間に差

があったこともあり、社員のモチベーション低下につながっていた。

このような状況の中、新事業を立ち上げ、コア事業に育てていくことを検討していた。

支援内容

あらかわ経営塾をきっかけとして、中小企業大学校、中小機構の支援を効果的に活用したケースである。

まず、あらかわ経営塾では、当社の強み等の現状を把握し、モラルサーベイ(従業員意識調査)の実施を検討し、社員のモチベーション向上に努めた。

あらかわ経営塾修了後、担当講師であり、中小機構の経営支援チーフアドバイザーである稲田氏の勧めで、平成26年度に中小企業大学校(25ページ参照)の中小企業診断士養成課程、ソリューション実習を受け入れて、現場で抱えている課題を深く掘り下げる調査・分析を行った。

それらを通じて、当社の課題を明確化し、平成27年1月から9月にかけて「中古車販売事業の実施条件絞り込み並びに事業計画策定、具体的な実行支援」をテーマとして、中小機構の専門家継続派遣事業(24ページ参照)を活用しながら事業計画の策定に取り組んだ。

中小機構の経営支援アドバイザーで、輸送機器関係の経営を専門分野としている三輪氏が担当になり、中古車販売事業の可能性評価から事業

計画の策定、テストマーケティングの支援を実施し、中古車販売事業者としては後発となる当社がどのようにすれば生き残れるかを検討した。

受講後の変化

あらかわ経営塾修了後、会社全体を見直し、中長期経営計画を新たに策定するため、「経営戦略室」を創設した。

平成26年の事業年度キックオフミーティングにて、第二創業を全社的に会社の存続を賭けて行うことを全社員に宣言。稲田氏を講師を迎え、「変革の時代を生き抜く現場力」をテーマとした講演会を皮切りに意識変革に向けた取組を開始。全社をあげて第二創業に取り組む姿勢の礎となった。

経営方針や経営者の思いを浸透させるため、事業年度の基本方針の全社員への配布、経営理念の社内随所への掲示等、会社としての目標を明確にした。あわせて社長が全社員と面談し、現場の声に耳を傾けながら、社員のモチベーション向上に努めている。

また、専務、経営戦略室長、マイカーサポート事業部によるプロジェクトチームを結成し、第二創業に向けた企業体制を整備。中小機構の専門家継続派遣事業の期間中は、月に2度、三輪氏が当社に訪問し、新事業の展開等について、プロジェクトチームメンバーと検討を重ねた。

